

# 2020年度 各種ルールの改正点・修正点について

## 1 6人制改正点・修正点

本競技規則は、2017年1月18日にFIVBより「ルールブック2017-2020」として公表されたものである。FIVBでは、オリンピック後にルール改正を検討しており、2020年度版ルールブックでは改正はない。

本年は、『2020 東京オリンピック・パラリンピック』が開催される年であるので、2020年度版ルールブックも『英文併記』とした。

なお、「ケースブック」についても2019年度版と同様に、ケース番号に『ビデオ』と記載した項目についてはインターネット上にサイトを作成し、ルールブック巻末にそのサイトのURLとQRコードを掲載しFIVBのCASEBOOKの動画ビデオを見ることができるようにした。

以下が本年度の主な修正点である。

### ●修正点

1. 付録（3）公式記録記入法を国内の記録用紙用に記載を修正した。
2. 付録（4）リベロコントロールシート記入法を国内の記録用紙用に記載を修正した。
3. 付録（5）プロトコールの名称をプロトコールA、プロトコールBと表現を変更した。
4. 規則をより読み易くするため、単語訳や表記を見直し、字句を修正した。
5. ケースブックをより読み易く理解しやすいように表現を一部修正した。

## 2 9人制改正点・修正点

今年度は、昨年度までのラリーの継続を踏襲し、プレーをする側も、観る側も理解しやすいよう競技規則の改正を行うこととした。またその他、日頃からJVAに寄せられた9人制競技規則に対する意見等も参考に、条文の表現を平易にしてより分かりやすい競技規則になるよう心掛けて編集にあたった。

今年度の9人制競技規則の主な改・修正点は以下のとおりである。

なお、昨年度からの修正・変更・追加した部分は下線で、削除した部分は取り消し線で表記した。

### ●改正点

1. 第1条（競技場）について
  - (1) 第1図の監督制限ラインを廃止し、選手交代ゾーンのラインを追加した。
  - (2) 監督制限ラインの条項を削除し、それ以降の条項を1項ずつ繰り上げた。
  - (3) 選手交代ゾーン（第5項）を「それぞれのコートに、サイドラインから外側に20cm間隔で、長さ15cmの5本のラインをコート中央から3mの位置になるように引く。選手交代ゾーンは、この5本のラインの間で、サイドラインの外側からフリーゾーンの端までとする。」に改めた。
2. 第5条（競技参加者の権利と義務）について
  - (1) 「・・・遅延させない限り、選手交代ゾーンに引いたラインの延長線からウォームアップエリアまでの、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。」に改めた。（第2項3(1)）

(2) 「監督がいないときは、タイムアウトおよび選手交代の要求をすること。・・・」に改めた。  
(第3項3(1))

### 3. 第20条 (ネット付近でのプレー) について

(1) 「相手チームがプレーしているボールに対し、アンテナ外側のネット垂直面を越えて相手空間内にあるボールに触れたとき。」に改めた。(第5項(4))

### 4. 第21条について

(1) 第21条を「ボールイン・アウト」に改めた。

(2) 「ボールが床面に接触したとき、ボールの一部でもラインを含むコートに触れた場合は、ボールインとする。」を追加した。(第21条1)

(3) 1を2に繰り下げ、(1)を以下のように改めた。また、(2)以降を繰り下げた。

(1) コート外の床面、物体、天井、またはプレーしていない人に触れたとき。

(2) アンテナ、アンテナ外側のネット、ロープ、支柱に触れたとき。

## ●修正点

### 1. 罰則を適用する際のカード名称

黄カードをイエローカードに、赤カードをレッドカードに修正した。

#### 第26条 試合の遅延

第2項 試合の遅延に対する処置 (第5表)

#### 第27条 不法な行為

第1項 軽度の不法な行為

第2項 罰則を適用する不法な行為の種類と内容

第3項 不法な行為に対する処置 (第6表 不法な行為に対する罰則段階表)

#### 第33条 公式ハンドシグナル

第7図 審判員の公式ハンドシグナル ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔

#### 付録(2) 公式記録記入法

第1 試合経過の記録方法

3 試合中 記載例: 図-2 の記載内容 ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥

### 2. 特別競技規則

#### 付録(1) 特別競技規則

JVAが主催する競技会を含め、国内大会に適用する特別競技規則を次のとおり定める。

(小学校・中学校・高等学校について削除した)

### 3. ケースブック

凡例の変更 2-2-3, 2-3-8, 3-3-2, 4-5-6, 4-7-5, 4-8-1

内容の変更 2-3-2, 2-3-6

内容の修正 4-8-1, 4-8-2, 4-8-3, 4-8-4, 4-8-5, 4-8-8, 4-8-9

### 3 ビーチバレーボール改正点・修正点

本競技規則は、2017年1月18日にFIVBより「ルールブック2017-2020」として公表されたものである。FIVBでは、オリンピック後にルール改正を検討しており、2020年度版ルールブックでは改正はない。

また、ビーチバレーボールルールブックは6人制ルールブック同様に『2020東京オリンピック・パラリンピック』に向けて今年度も『英文併記』とした。

2020年度版はルールの取り扱いについての周知を図るために『ケースブック』を改訂し付録に掲載した。また、ケースブックにおける『用語集』を掲載した。

以下が本年度の主な修正点である。

#### ●修正点

1. 公式記録用紙のサンプル「備考」の上の欄にメディカルアシスタンスプロトコールに関する新規項目「メディカル・アシスタンス・チャート」が設けられた。
2. チャレンジシステム採用時のフォーマットの記入法サンプルを入れた。
3. 規則をより読み易く理解しやすいように表現を一部修正した。
4. ケースブックをより読み易く理解しやすいように表現を一部修正した。

### 4 ソフトバレーボール改正点・修正点

競技規則制定から33年を迎え、競技規則は、6・9人制バレーボールの長所を生きながらソフトバレーボールの本質である「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」に沿い、適合したものとなるよう心掛け編集にあたった。

以下が本年度の主な改・修正点である。

#### ●改正点

[一般] [小学生]

#### (1) 第5章 プレー上の動作と反則

##### 22 プレー上の反則 (小学生は21)

- ① 22.10 タッチネットの条文に、次の1項目を加えた。  
22.10.2 ネットの幅の支柱部分に触れたとき。
- ② 22.13 ボールアウトの条文に、次の2項目を加えた。  
22.13.5 ボールがフリーゾーンを越えたとき。  
22.13.6 他の選手や競技場内の物体で身体を支えたり、これを利用してボールをプレーしたとき。
- ③ 22.15 インターフェアの条文に、次の1項目を加えた。  
22.15.3 インプレー中に、選手がネット下を通り抜けたとき。

[小学生]

#### (1) 第2章 チーム

##### 6 競技参加者の権利と義務

- ① 6.2 監督の権利と義務の条文の下記項目より「選手としてコート内にいるときは、その権利を失う。」の表記を削除した。
- ② 6.3 チームキャプテンの権利と義務の条文に、次の1項目を加えた。  
6.3.4 チームキャプテンは試合終了後公式記録用紙にサインし、結果を承認する。

●修正点

[一般] [小学生]

(1) 第1章 施設と用具 1 競技場

- ① 1.2 コート 1.2.1フリーゾーンに関する表記の一部を修正した。
- ② 1.3 サービスゾーン 1.3.2ショートサービスゾーンに関する表記の一部を修正した。

(2) 第5章 プレー上の動作と反則

- ① 17.4.6 ショートサービスゾーンからのサービスに関する表記の一部を修正した。
- ② 18.7 両チームの選手の同時接触に関する表記の一部を修正した。
- ③ 20.4・20.5・20.6 これまでの項目を3項目に区分、またオーバーネットに関する表記の一部を修正した。
- ④ 21.2.3 ボールの許容区間外側の通過に関する表記の一部を修正した。また、第6図を修正した。
- ⑤ 22.13.2 ボールの許容区間外側の通過に関する表記の一部を修正した。

(3) 第6章 不法な行為とその罰則の第1表中、表記を一部修正した。

(4) 公式ハンドシグナルの適用条項を項番見直しに合わせ修正しました。

(5) 公式記録用紙の一部修正と、公式記録記入法の表記を一部修正した。

(6) プロトコールの表記の一部を修正した。

(7) ケースブックの表記を修正した。